特集

町民と共に考え評価する決算

＼蝶／
注目！ 町民取材



アサギマダラに、聴いてみた。“寄居町を選んだ理由”

今号の特集は「町民と共に考え、評価する決算」。町の課題を明らかにし、施策を検証する上で欠かせないのが「町民の生の声」だ。決算審査で各議員が注目した事業について議員全員が取材を敢行する中で、思いがけない出会いがあった。

町内西部地区の花畑に、2000キロもの距離を旅する「渡り蝶・アサギマダラ」が飛来しているという。なぜ、そんな遠くから寄居町に？

早速「蝶・民取材」へ。秋の七草の一つ、フジバカマの甘い香りに誘われ、ひらひらと優雅に舞うアサギマダラが目の前に。感動の一瞬だ。花畑を手がけているのは矢島頼夫（やじまよりお）さん（関連記事 裏表紙）。翌年の飛来に向け、挿し木で苗を増やし、植替えを重ねて、アサギマダラが立ち寄れる環境を整えていると いう。この地道な積み重ねが、旅する蝶にとって寄居町を心地よい立ち寄り先にしたのかもしれない。

この「蝶の心情」は、町と議会がめざす町づくりにも大切な視点を教えてくれる。相手が何を求めているのかを知り、その思いに応えるために準備を重ねる。蝶がこの花畑に魅力を感じたように、町民にとって魅力ある町づくりも、そこから始まるのではないだろうか。

町が提案し、議会が議決した予算によって実施された事業は、町民が本当に求めていたものだったのか。今号の巻頭特集では、注目する事業について町民と議員がそれぞれの視点で見、考え、ABCD評価をした。アサギマダラが再び訪れた花畑のように、町民が魅力を感じ、未来に希望を持てる町へ。その実現につながる事業を見極め、その「声」を次年度予算へとつなげていきたい。議会は住民自治の窓口。町の成果や課題を町民と一緒に見つめ直すことに重きを置く、寄居町議会の役割を果たしていきたい。

◆ABCD評価の根拠
A…大変良い（目標を大きく上回る成果が出ている） B…良い（概ね目標通りの成果が出ている）
C…やや課題あり（目標に達しておらず見直しが必要） D…課題が大きい（成果が出ておらず抜本的な見直しが必要）

「私はこう見る」空調設備等
（庁舎空調設備等更新工事）

令和7年度決算額 2億5378万円





関谷寿（せきやひさし）議員

私の評価は A

私の視点 環境改善

公共施設等の大規模改修のため、令和7年度に多額の財源を投入。毎日使う建物内の空調設備なので、電気料金が下がったのは良かった。来庁者、職員の環境が改善され、仕事の効率も上がるはず。



金子峻昌（かねこたかまさ）さん（用土）

私の評価は B

私の視点 費用対効果

町の限られた予算から、約2億5000万円も使ったのだから、我々の役場訪問時の快適性より、職場環境の改善による費用対効果を期待する。

この事業は… 30年経過した役場庁舎の2か年にわたる総額4億5728万円の空調設備更新工事で庁舎全体で152台。令和6年度は2億350万円。

数字で見る成果 令和7年度 庁舎の電気料金 1946万円（前年度比14.1%減、320万円削減）

「私はこう見る」命を守る帽子
（自転車用ヘルメット購入費補助金）

令和7年度決算額 1.8万円



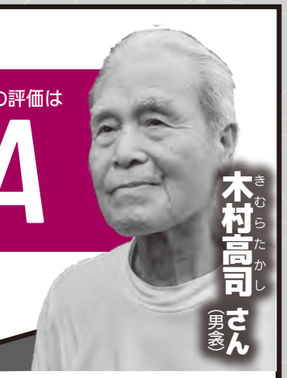


里見夕子（さとみゆうこ）議員

私の評価は B

私の視点 安全の一歩

令和7年度の申請数は減少してしまったが、自転車の交通ルール（青キップ）変更でヘルメットの重要性は高まっている。高齢者の安全を守る制度として、利用の広がりと継続に期待する。



木村高司（きむらたかし）さん（男衾）

私の評価は A

私の視点 もっと周知を

努力義務になった時にヘルメットを購入。自転車で転倒した際、着用していたのでけがなく済んだ。補助があると知っていれば活用したかった。よい事業なので特に高齢者にもっと届く周知をしてほしい。

この事業は… 高齢者の自転車乗車時の安全確保と交通事故による被害軽減を図るため、自転車用ヘルメットの購入費の一部を助成する事業。

数字で見る成果 令和7年度の助成実績 10件（令和6年度の実績は43件）

※金額の単位：万円（未満切捨）

今号の町民取材は議員全員で敢行。町民と議員のそれぞれの評価。視点の違いが、解決の糸口だ。